

**横浜開港 150 周年記念テーマイベント「開国・開港 Y150」  
「情報センター運営管理計画策定及び運營業務委託」受託者特定に係る実施要項**

(趣旨)

第1条 この要項は、横浜開港 150 周年記念テーマイベント「開国・開港 Y150」「情報センター運営管理計画策定及び運營業務委託」の発注に際し、公募型プロポーザル方式により受託者を特定する場合の手続き等について必要な事項を定める。

(審議事項)

第2条 財団法人横浜開港 150 周年協会における委託に関するプロポーザル実施取扱要綱第 12 条に定められた契約業者選定委員会における審議事項は、次のとおりとする。

- (1) プロポーザルの実施に関する審議
  - ア 提案書提出者の決定 (公募条件)
  - イ 提案書の評価方法 (評価項目、評価基準等) の決定
  - ウ 評価委員会の委員の決定
  - エ その他必要と認めるもの
- (2) 特定に関する審議
  - ア 提案書の評価結果報告内容
  - イ 受託者の特定
  - ウ プロポーザル結果の通知

(評価)

第3条 受託者を特定するための評価事項は、次に掲げる事項とする。

- (1) 企画提案内容の妥当性・実現性等
    - ・事業目的・趣旨の理解度
    - ・予算計画の妥当性
  - (2) 推進体制の妥当性・実現性等
    - ・組織について
    - ・担当者の構成・人数の妥当性
    - ・推進スケジュールの妥当性
  - (3) 過去の類似業務の実績
  - (4) その他当該業務に対する意欲等
- 2 提案者が多数の場合は、財団法人横浜開港 150 周年協会が提案書の一次評価を行い、最大で 5 者を選定した上で、ヒアリングを実施する。
- なお、一次評価内容については評価委員会に報告し、承認を得ることとする。

(プロポーザル評価委員会の設置)

第4条 提案書の評価にあたっては、横浜開港 150 周年記念テーマイベント「開国・開港 Y150」「情報センター運営管理計画策定及び運營業務」に係るプロポーザル評価委員会 (以下「評価委員会」という。)を別に設置し、次の各号に定める事項について業務を行う。

(1) 提案書の評価

(2) ヒアリング

- 2 評価委員会には委員長、副委員長、及び委員を置く。なお、委員長及び副委員長は委員の互選とする
- 3 委員長に事故等があり欠けたときには、副委員長がその職務を代理する。
- 4 評価委員会は、委員の過半数の出席をもって成立する。
- 5 委員長は、評価結果を契約業者選定委員会に報告するものとする。

(提案資格確認の通知)

第5条 財団法人横浜開港150周年協会における委託に関するプロポーザル実施取扱要綱第8条により提案資格が認められなかった旨の通知を受けた者は、書面によりその理由の説明を求めることができる。

なお、書面は本協会が通知を発送した日の翌日起算で、土曜日、日曜日、祝日を除く5日後の午後5時までに参加意向申出書提出先まで提出しなければならない。

- 2 前項により説明を求められたときは、本協会が書面を受領した日の翌日起算で、土曜日、日曜日、祝日を除く5日以内に説明を求めた者に対し書面により回答する。

(審査結果の通知)

第6条 実施取扱要綱第12条により特定されなかった旨の通知を受けた提案者は、書面により選定されなかった理由の説明を求めることができる。

なお、書面は本協会が通知を発送した日の翌日起算で、土曜日、日曜日、祝日を除く5日後の午後5時までに提案書提出先まで提出しなければならない。

- 2 前項により説明を求められたときは、本協会が書面を受領した日の翌日起算で、土曜日、日曜日、祝日を除く5日以内に説明を求めた者に対し書面により回答する。

附則 この要項は、平成20年5月29日から施行する。